

妙智會

11月28日本部供養会
本殿大講堂（ライブ配信）
宮本法嗣先生ご指導Vol. 115
2023. 12. 6
1/2

本日は「ご法名」について、お話をしたいと思います。妙智會には大きく分けて「人間のご法名」と「それ以外のご法名」があります。ご法名に対して、皆さん勘違いしているところがあるのではないかと思います、もう一度ご法名について学びたいと思います。

身体にご法名を頂く場合、例えば、胃に無理をさせ、病気をしてしまったときは、胃を中心に身体のご法名をつけて頂いて、それを謹読し、ご供養をします。この時、気を付けなければいけないことは、ご法名を頂くと、一つ大きなものをプラスして頂いたと勘違いをします。胃の具合が悪いから、胃のご法名頂いて良くする。ということはイメージ的に、プラスを頂いているように感じます。

しかし、具合が悪くなったのは、自分の行いが原因です。自分の行いで悪くなったものを、ご法名頂いて良くするのは、「本来の形に戻す」ということで、ご法名をたくさんつけたから良くなるわけではありません。そこが妙智會、会主さまの尊いご法名です。私たちは、死ぬまで悪いことをする。その人に、妙智會の生院徳の法名をつけるのは、まずは1回リセットするためです。完全にゼロに戻らない人もいますが、ゼロに近いところまで戻すのが、ご先祖さまの法名の力なのです。生院徳の法名は、元に戻してあげるから、もう1回頑張りなさい、ということです。私たちは尊いご法名を頂いて、一度ゼロに近くしてくださっているのだから、改めなければ駄目なのです。

もう一つ、人間の生院徳のご法名は、次の世で素晴らしいところに生まれ変われるように、という意味を頂いています。

ご法名を1体おつけただけでも、大きな結果が出ます。妙智

會のご法名というのは奥が深く、今日私が話したことは、まだまだ表面上の一つに過ぎません。もっと奥が深いのです。

そして最後に、私たちというのはご守護尊神を含め、荒神さま・ご本尊さま・総戒名・過去帳を通してご先祖に守って頂くことを考えるよりも、先にしなければいけないことがあります。それは『守る』ということです。ご神佛にご守護を願うなら、先にご神佛を守るということを誓わなければなりません。しかし我々は、欲が深いので、その大切なことをしないまま、守ってくれと念じています。

神社仏閣で頂くお守り札も、そのご神佛を守るための、証の意味があったのですが、私たちは人間の欲で、ただ守って頂く為にお札をもらうという、一方的で失礼な感情でお札をもらっている私たちです。

会主さまは、「たくさんの神社に行って、たくさんのお札を、もらわない方がいいよ。その分、欲が増えるから、妙智會だけでいい」とご指導くださいました。皆さんの欲が増えるということです。

南無三寶荒神さまを頂いて、台所を綺麗にするのは、守るということの証です。

妙智會では、人格完成に努力すると申しています。尊いものを守るためには、人格を良くしなければ駄目なのです。妙智會の人格完成に努力するということは、一つは、尊いものを守るような人間になるという誓いがあります。今日、ご自宅に戻られたら、ご法座に「今まで勘違いをしておりました。今から尊いものを守る人間になります。これからもご縁をお願い申し上げます」と、区切って頂きたい。これが妙智會の教えであります。尊いものを、輝いているものを家に頂いて守れるという喜びを、ぜひ今日から増やして頂きたいと思います。